

ネットモニター調査結果 - '25年7月期 -

ご協力いただいたモニター数：197社

調査期間：2025年8月1日～8日

《7月の景況判断に関する要点》（図A、図B、図C）

業 況：上向く

見通し：上向く

- 7月の景況（前月比）をみると、「上昇・好転」の割合が6.9ポイント上昇して24.9%、「下降・悪化」は1.9ポイント下降して22.8%となり、DIは8.8ポイント上昇して2.1となった。

業種別DIは、製造業で5.9ポイント上昇して2.3、非製造業で10.8ポイント上昇して1.8となった。

- <上昇・好転要因>は、「内需が増大したから」が50.0%、「時期的、季節的な要因で」が42.0%と突出して高くなった。

- <下降・悪化要因>は、「内需が減少したから」が57.8%と最も高く、「時期的、季節的な要因で」が35.6%、「原材料・仕入れ価格などコストが上昇したから」が33.3%と続いた。

- 3ヵ月後（10月）の見通しは、「上昇・好転」が3.2ポイント上昇して22.3%、「下降・悪化」が3.5ポイント下降して22.8%となり、DIは6.7ポイント上昇して-0.5となった。

- 7月の前年同月比は、「上昇・好転」が7.8ポイント上昇して28.9%、「下降・悪化」が3.0ポイント下降して28.4%となり、DIは10.8ポイント上昇して0.5となった。

業種別DIは、製造業で0.8ポイント下降して-7.9、非製造業で20.1ポイント上昇して7.4となった。

注：ネットモニター調査は、2019年4月から大阪市経済戦略局と（公財）大阪産業局が共同実施しており、両調査の回答を集約のうえ、とりまとめて結果を公表しております。

図 A 景況判断

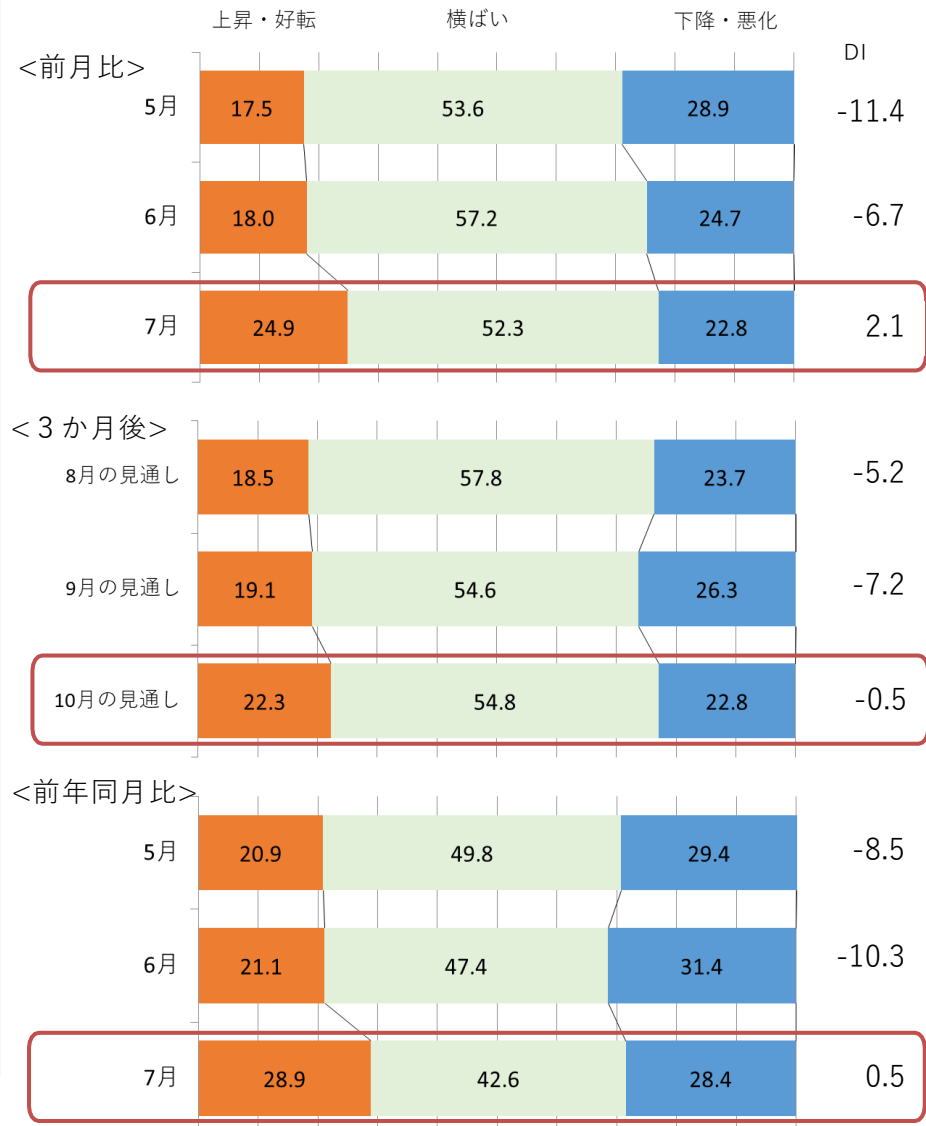
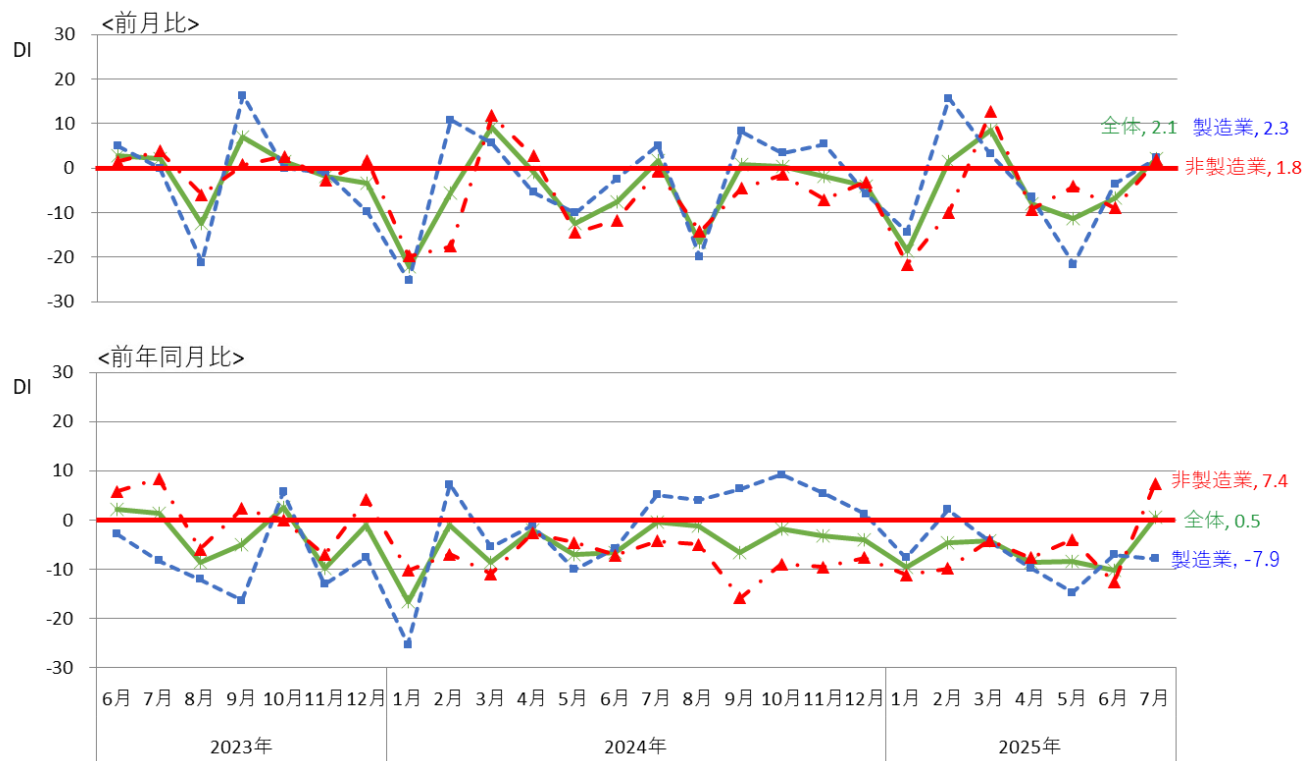


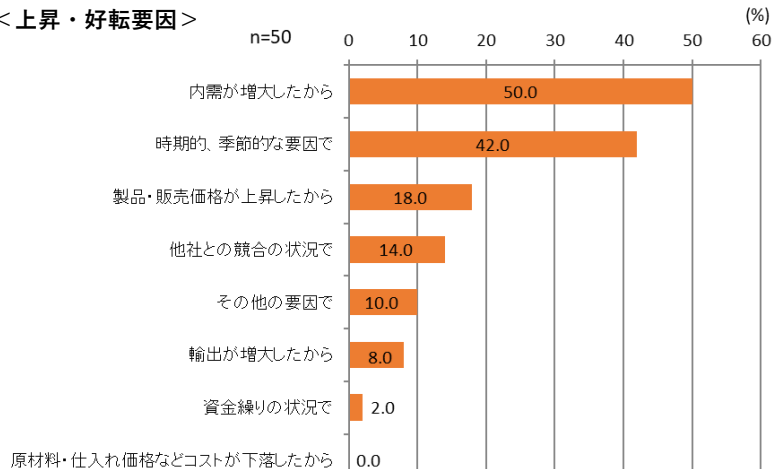
図 B 景況DIの推移（業種別）



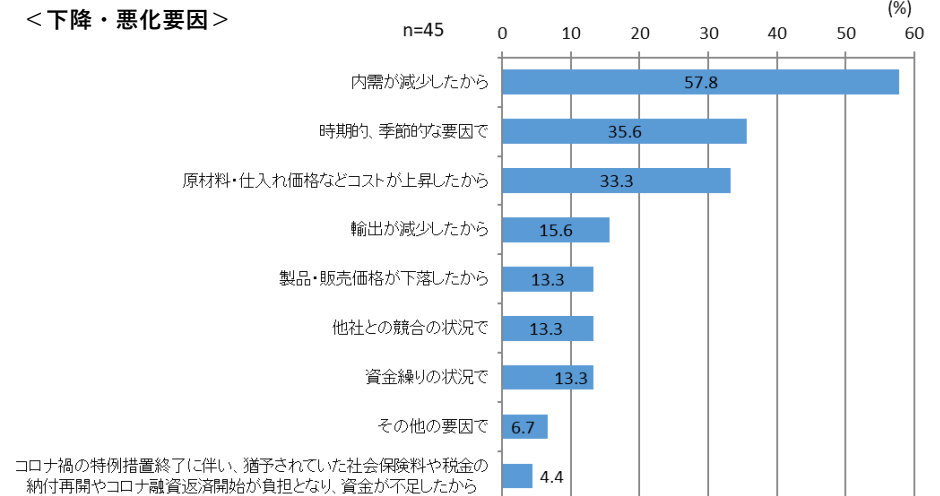
* DI (Diffusion Index) は、「上昇・好転」の割合から、「下降・悪化」の割合を引いた数字。景気動向を表す指標のひとつ。

図 C 前月比景況変化の理由

<上昇・好転要因>



<下降・悪化要因>



《資金繰りDIの推移》 図D

<全体>

- 今回(7月)の資金繰りDIは、前回(6月)より2.3ポイント上昇し、20.8となった。

<業種別>

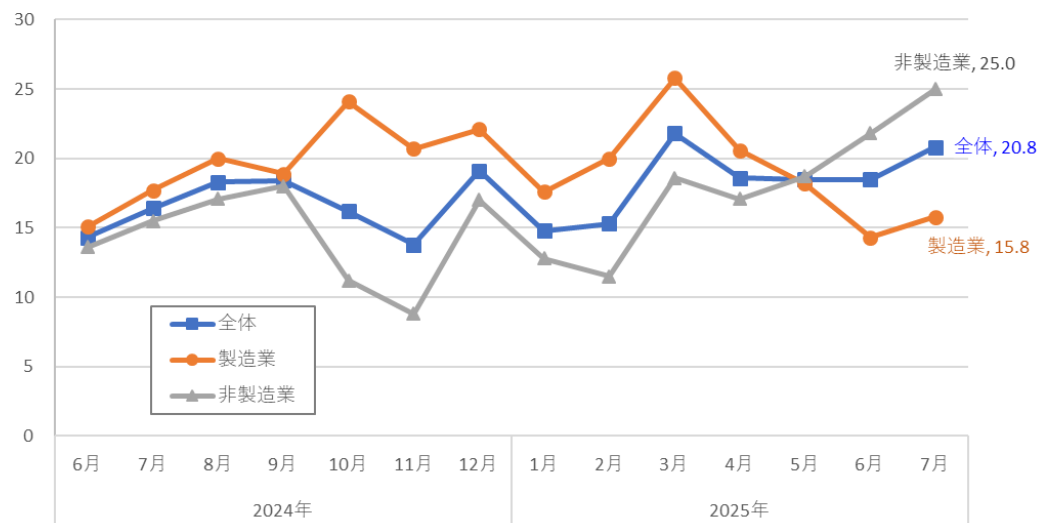
- 製造業では、DIは1.5ポイント上昇して15.8となった。
- 非製造業では、DIは3.2ポイント上昇して25.0となった。

<規模別>

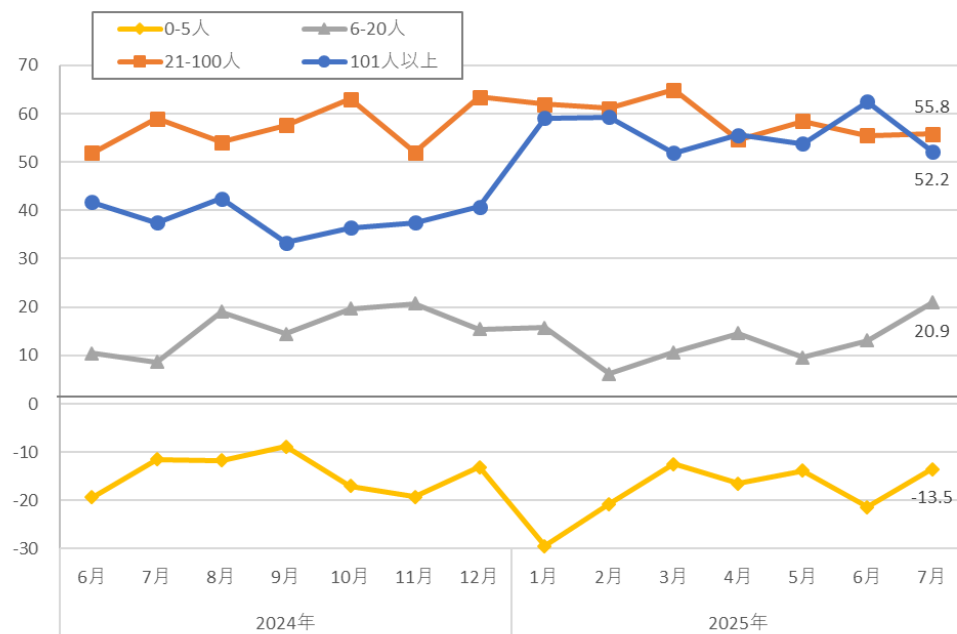
- 0-5人では、DIは7.9ポイント上昇して-13.5となった。
- 6-20人では、DIは7.8ポイント上昇して20.9となった。
- 21-100人では、DIは0.3ポイント上昇して55.8となった。
- 101人以上では、DIは10.3ポイント下降して52.2となった。

図D 資金繰りDIの推移

<全体・業種別>



<規模別>



《原材料・仕入・エネルギーの価格上昇や調達難の影響》図E

< 全体 >

- 「マイナスの影響がある」が48.0%、「ややマイナスの影響がある」が32.7%となり、合計すると、80.7%がマイナスの影響があるという結果となった。
- 前月（6月）との比較では、マイナスの影響があるという回答は、前月（6月）を下回った。

< 業種別 >

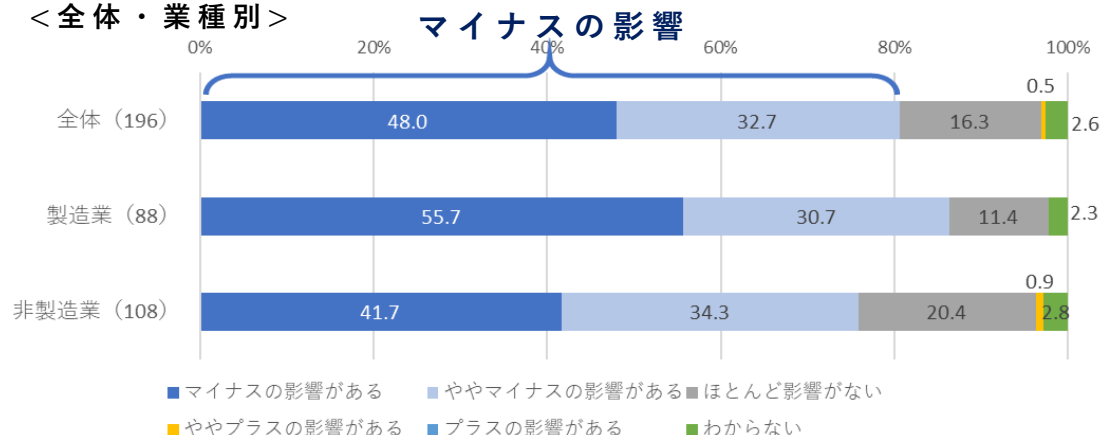
- 製造業では「マイナスの影響がある」が55.7%、「ややマイナスの影響がある」が30.7%となり、合計すると86.4%がマイナスの影響があるという結果となった。
- 非製造業では「マイナスの影響がある」が41.7%、「ややマイナスの影響がある」が34.3%で、合計するとマイナスの影響があるのは76.0%となり、製造業よりも低い結果となった。

< 規模別 >

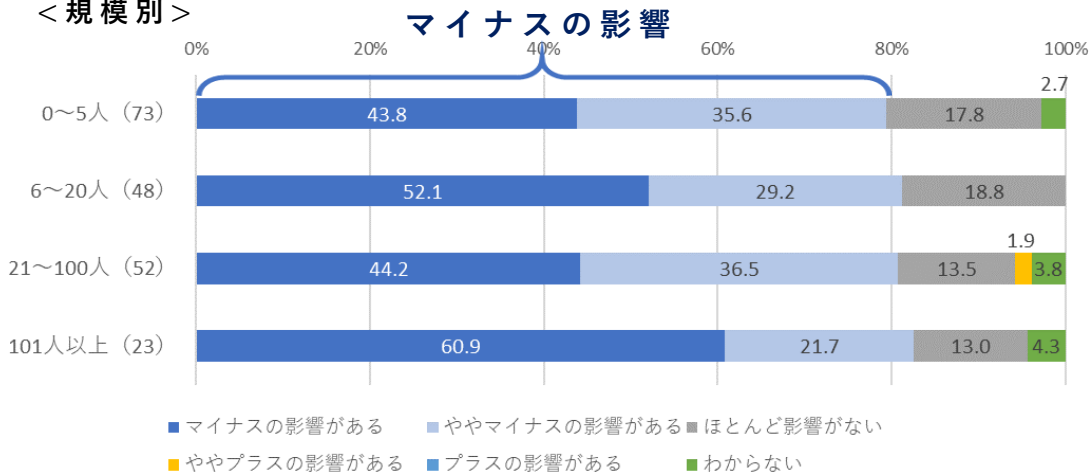
- 「マイナスの影響がある」と「ややマイナスの影響がある」を合計した割合は、101人以上で82.6%、6-20人で81.3%、21-100人で80.7%、0-5人で79.4%となった。

図E 原材料・仕入・エネルギーの価格上昇や調達難の影響

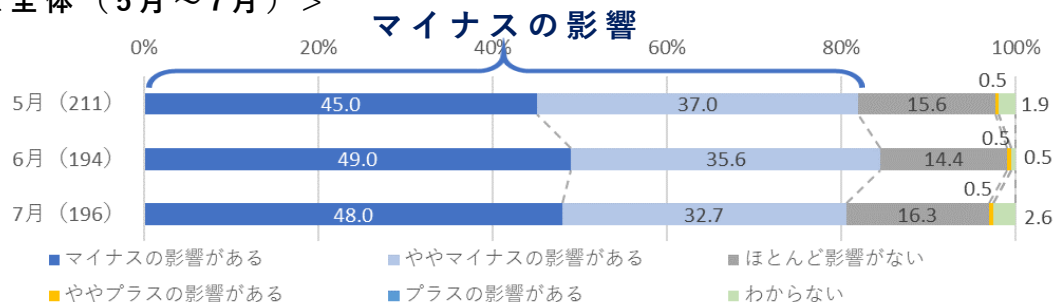
< 全体・業種別 >



< 規模別 >



< 全体（5月～7月） >



《具体的なマイナスの影響の内容》 図F

< 全体 >

- 「原材料・仕入の価格上昇による商品価格の値上げ」が62.7%と最も高く、続いて「エネルギー（電力・ガス・燃料油など）価格の上昇等による輸送コストや光熱費等の上昇」が55.1%、「粗利益の減少(価格据え置き)」が48.7%となった。

< 業種別 >

- 製造業では、「原材料・仕入の価格上昇による商品価格の値上げ」が72.4%を占め、「エネルギー価格の上昇等による輸送コストや光熱費等の上昇」が64.5%、「粗利益の減少」が48.7%となった。

少」が57.9%と高くなった。

- 非製造業では、「原材料・仕入の価格上昇による商品価格の値上げ」が53.7%、「エネルギー価格の上昇等による輸送コストや光熱費等の上昇」が46.3%、「粗利益の減少」が40.2%となった。

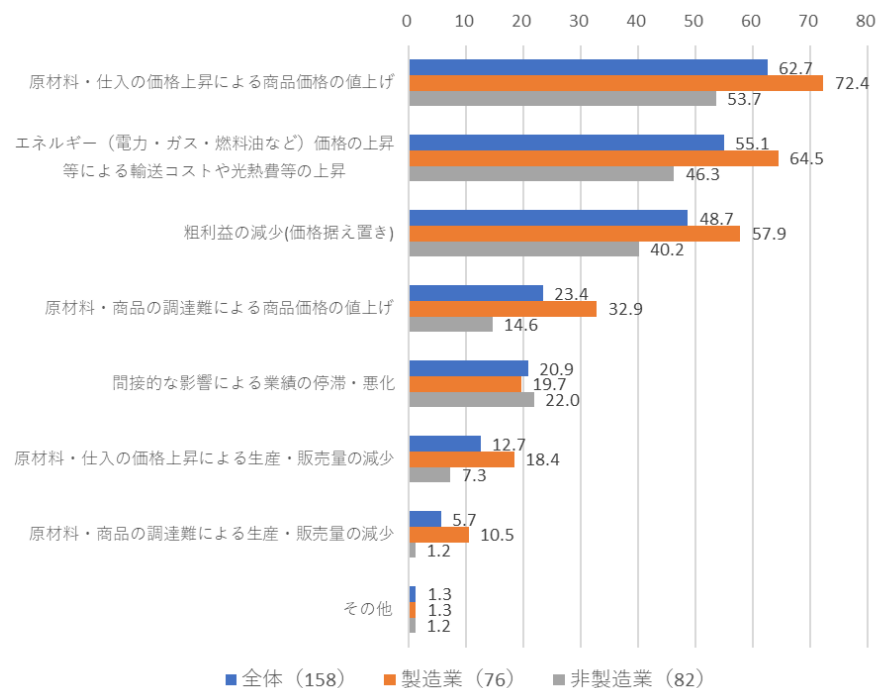
< 規模別 >

- 「原材料・仕入の価格上昇による商品価格の値上げ」は、101人以上で78.9%と8割近くに達し、21-100人で69.0%、6-20人で64.1%、0-5人で51.7%となり、規模が大きくなるほど高い割合となった。

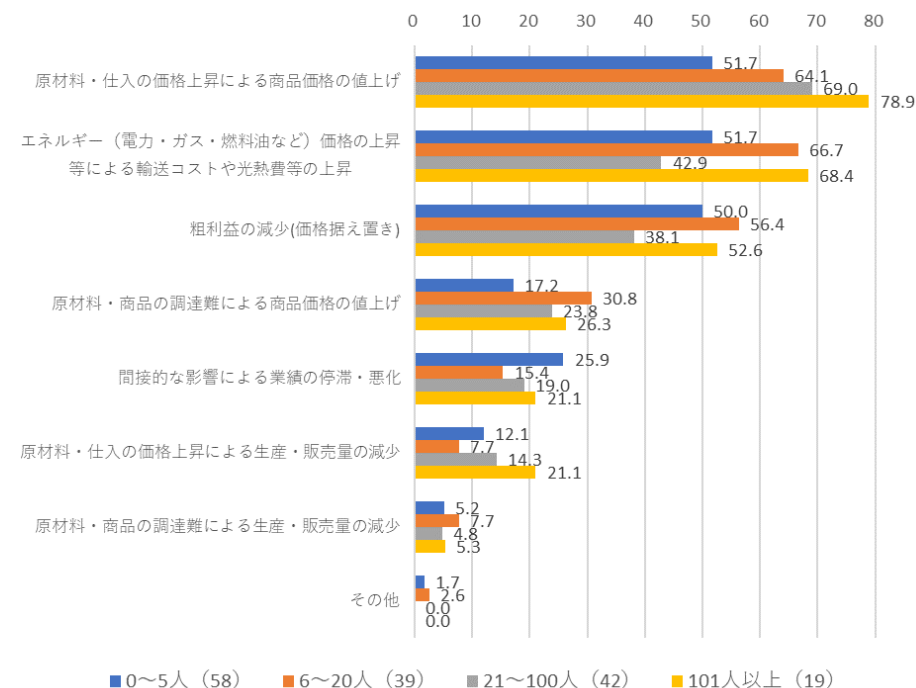
図F 具体的なマイナスの影響の内容

図Eでの回答「マイナスの影響がある」、「ややマイナスの影響がある」のみの集計

< 全体・業種別 >



< 規模別 >



《原材料等の価格上昇や調達難への対応》図G

< 全体 >

- 「販売価格への転嫁」が59.2%と最も高く、次いで「経費（人件費以外）の削減」が30.9%、「販売・営業の強化」が29.3%となった。

< 業種別 >

- 製造業では、「販売価格への転嫁」が73.3%を占め、続いて「経費（人件費以外）の削減」、「販売・営業の強化」がともに40.7%、「生産性の向上」が34.9%となった。
- 非製造業では、「販売価格への転嫁」が47.6%、「経費（人件費以外）の削減」が22.9%、「販売・営業の強化」

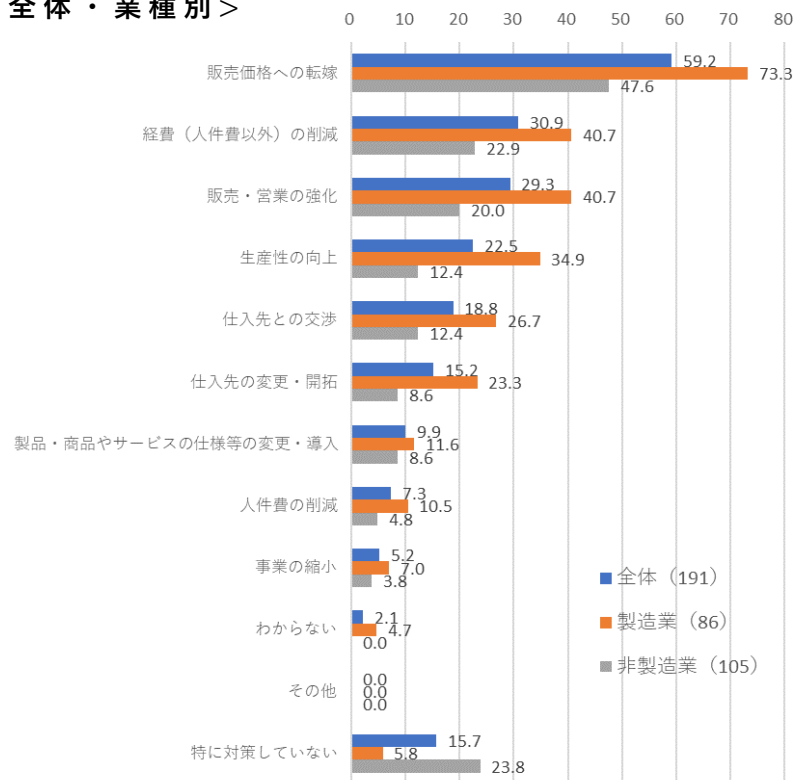
が20.0%となった。

< 規模別 >

- 「販売価格への転嫁」は、21-100人で80.0%、101人以上で77.3%、6-20人で54.2%、0-5人で42.3%と高い割合を占めた。
- 101人以上では、「経費（人件費以外）の削減」、「生産性の向上」がともに50.0%と高くなった。
- 「特に対策していない」は、0-5人で25.4%、6-20人で12.5%、21-100人で10.0%、101人以上で4.5%となり、規模が小さくなるほど高くなった。

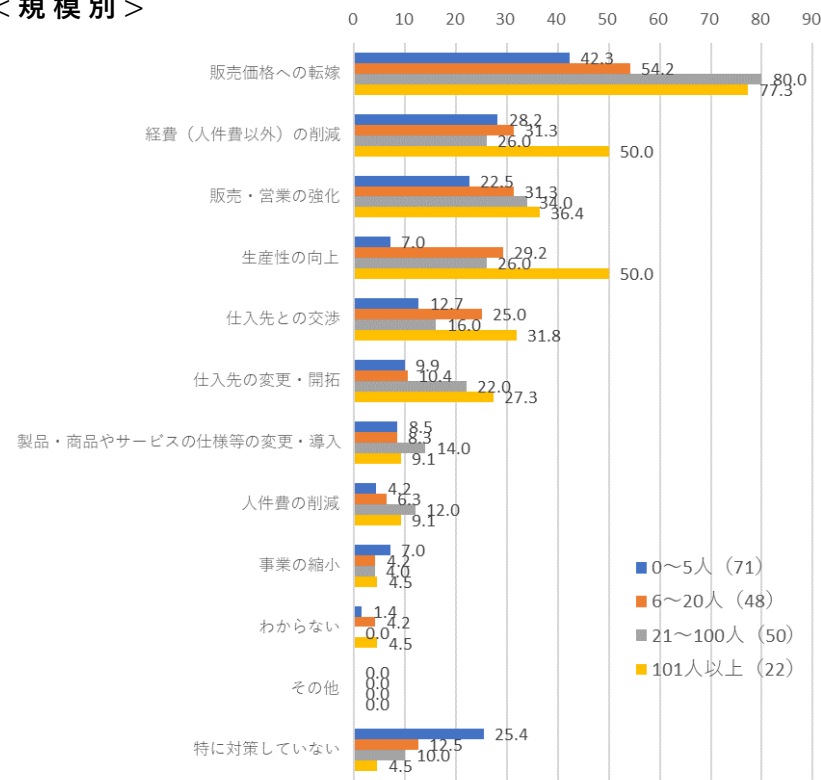
図G 原材料等の価格上昇や調達難への対応

< 全体・業種別 >



図Eでの回答「わからない」を除く集計

< 規模別 >



図H 2024年度決算における売上高と25年度見通し（対前年度）

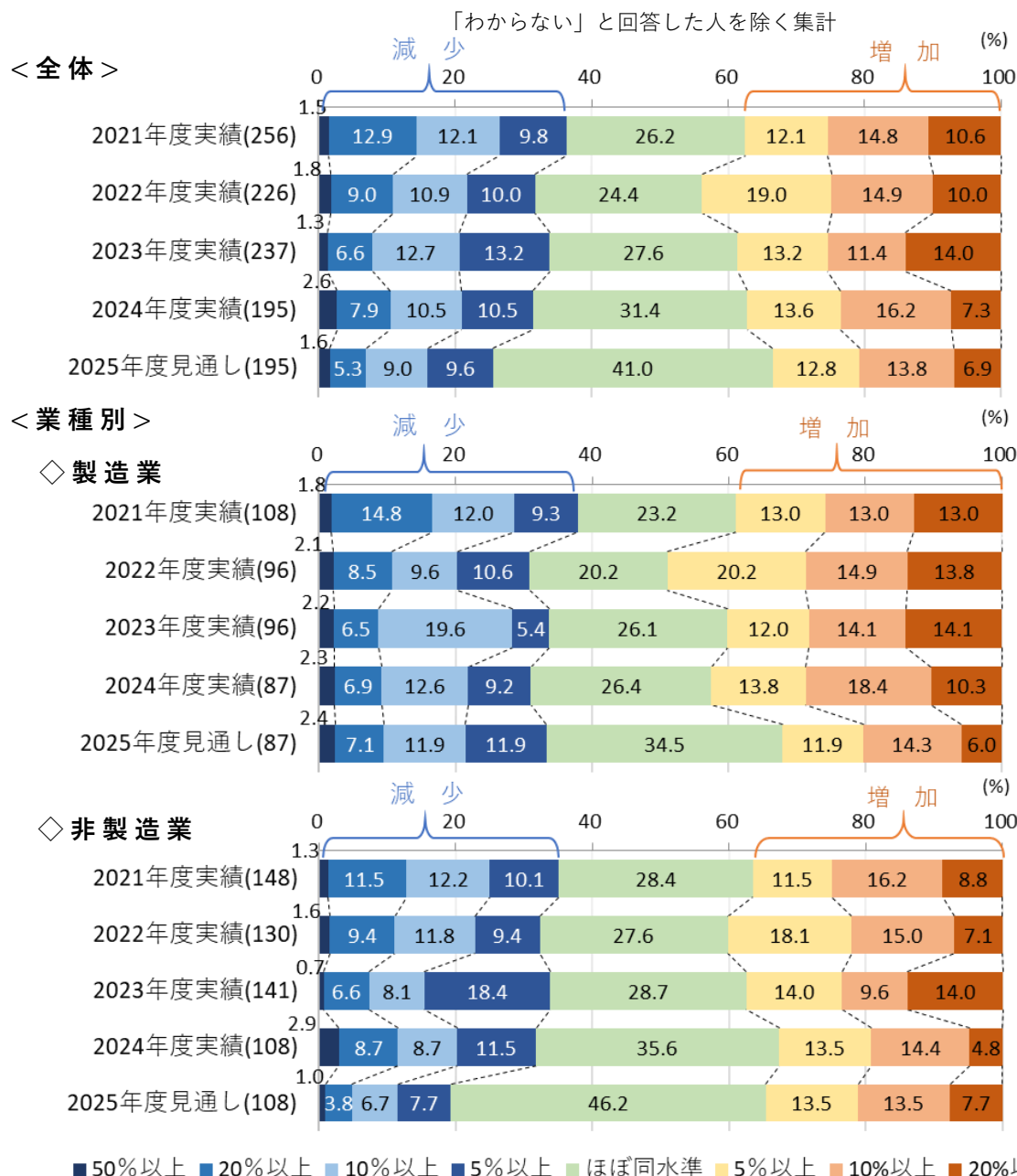
《2024年度決算における売上高と25年度見通し（対前年度）》図H

< 全体 >

- 2024年度実績では、“減少”（「5%以上減」，「10%以上減」，「20%以上減」，「50%以上の減少」の合計）は前年度（2023年度）より2.3ポイント下降して31.5%となった。一方、“増加”（「20%以上増」，「10%以上増」，「5%以上増」の合計）は1.5ポイント下降して37.1%となり、“増加”が“減少”を上回った。
- 減少率別にみると、「5%以上」が10.5%、「10%以上」が10.5%、「20%以上」が7.9%、「50%以上」が2.6%となった。
- 2025年度見通しは、“増加”は33.5%に下降し、“減少”も25.5%に下降する見通しとなった。

< 業種別 >

- 製造業の2024年度実績をみると、“減少”は2.7ポイント下降して31.0%、一方、“増加”は2.3ポイント上昇して42.5%となった。2025年度見通しについては、“減少”が上昇して33.3%、“増加”が下降して32.2%となった。
- 非製造業の2024年度実績をみると、“減少”は2.0ポイント下降して31.8%、“増加”は4.9ポイント下降して32.7%となった。2025年度見通しは、“減少”は下降して19.2%、“増加”は上昇して34.7%という見通しとなった。



《2024年度決算における売上高と25年度見通し（対前年度）》図

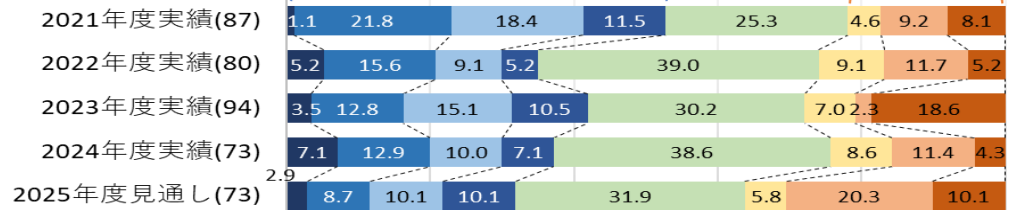
< 規模別 >

- 0-5人の2024年度実績をみると、“減少”の割合は4.8ポイント下降して37.1%、“増加”は3.6ポイント下降して24.3%となった。2025年度見通しをみると、“減少”はさらに下降して31.8%となり、“増加”は上昇して36.2%となる見通しとなった。
- 6-20人の24年度実績は、“減少”は2.4ポイント上昇して40.4%、“増加”は2.7ポイント上昇して31.9%となった。25年度見通しは、“減少”は12.7ポイント下降して27.7%、“増加”も下降して23.4%となる見通しとなった。
- 21-100人の24年度実績は、“減少”が2.2ポイント下降して21.2%、“増加”は4.3ポイント下降して55.8%となった。25年度見通しは、“減少”はさらに下降して15.7%、“増加”も12.6ポイント下降して43.2%となる見通しで、“増加”が“減少”を上回る状況が持続する見通しとなった。
- 101人以上の24年度実績は、“減少”が2.7ポイント下降して18.1%、“増加”が0.3ポイント下降して45.5%となった。25年度見通しは、“減少”は上昇して23.8%、“増加”は21.7ポイントと大幅に下降して23.8%となる見通しで、“増加”と“減少”が同程度となる見通しとなった。

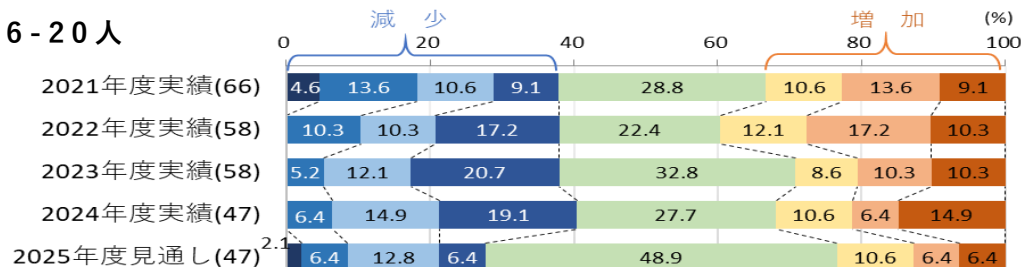
図1 2024年度決算における売上高と25年度見通し（対前年度）（続き）

< 規模別 >

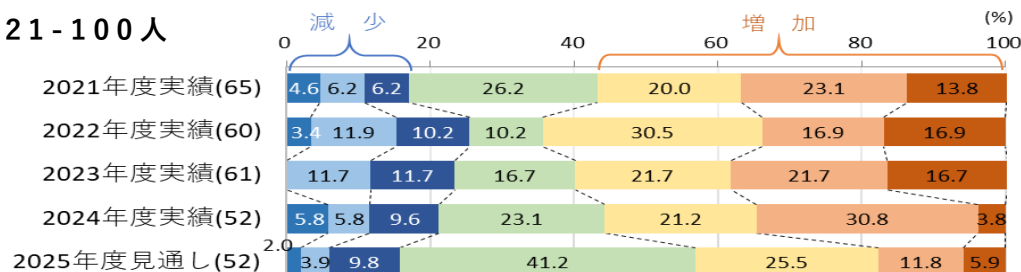
◇ 0-5人



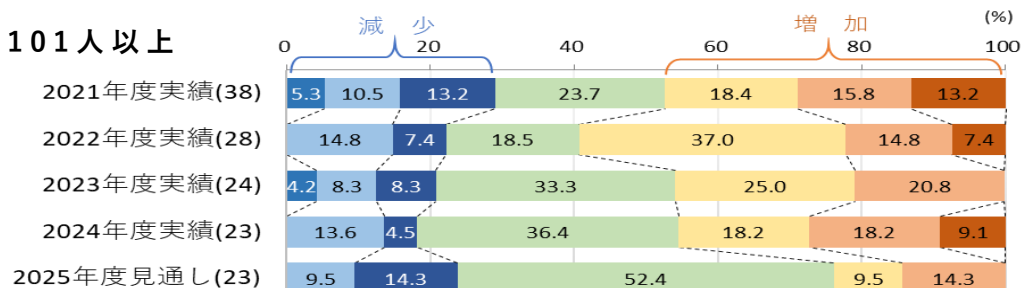
◇ 6-20人



◇ 21-100人



◇ 101人以上



■ 50%以上
■ 20%以上
■ 10%以上
■ 5%以上
■ ほぼ同水準
■ 5%以上
■ 10%以上
■ 20%以上

図J 2024年度決算の営業利益

《2024年度決算の営業利益》 図J

< 全体 >

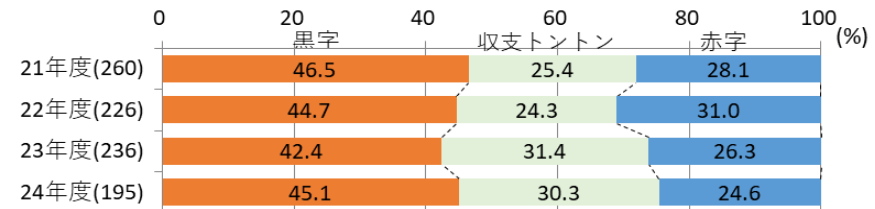
- 2024年度決算の「黒字」は2.7ポイント上昇して45.1%、「赤字」は1.7ポイント下降して24.6%となった。
- 前年度と比較した収益の水準（改善/悪化）では、「改善」は3.3ポイント下降して34.4%、「悪化」は1.5ポイント下降して28.2%となり、「改善」が「悪化」を上回る状況が持続している。

< 業種別 >

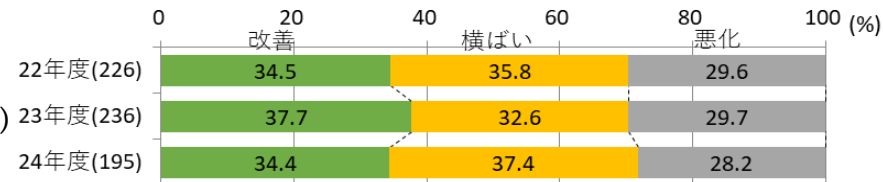
- 製造業では「黒字」は0.9ポイント上昇して48.3%、「赤字」は4.4ポイント下降して23.0%となった。前年度と比較した収益の水準（改善/悪化）では、「改善」は4.0ポイント下降して40.2%、「悪化」は7.0ポイント上昇して33.3%となった。
- 非製造業では「黒字」が3.6ポイント上昇して42.6%、「赤字」が0.4ポイント上昇して25.9%となった。前年度と比較した収益の水準（改善/悪化）では、「改善」は3.7ポイント下降して29.6%、「悪化」は7.8ポイント下降して24.1%となった。

< 全体 >

黒字 / 赤字



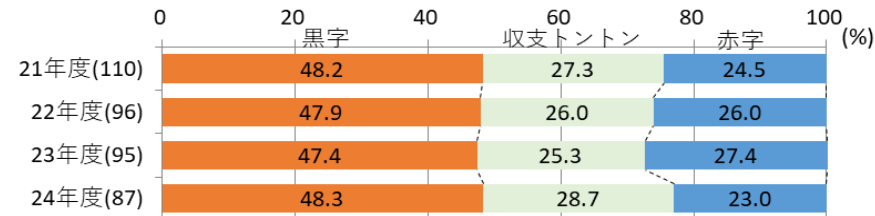
前年度と比較した 収益の水準（改善 / 悪化）



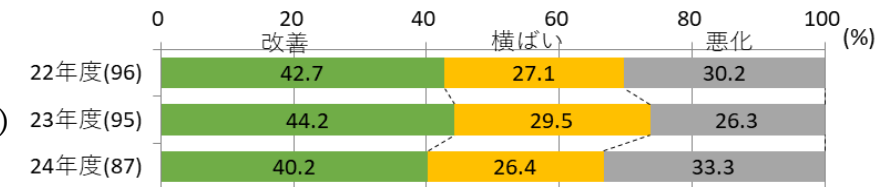
< 業種別 >

◇ 製造業

黒字 / 赤字

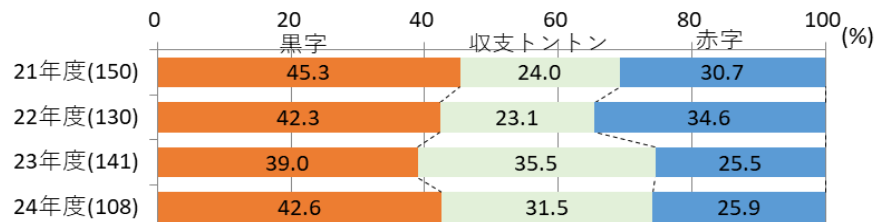


前年度と比較した 収益の水準（改善 / 悪化）

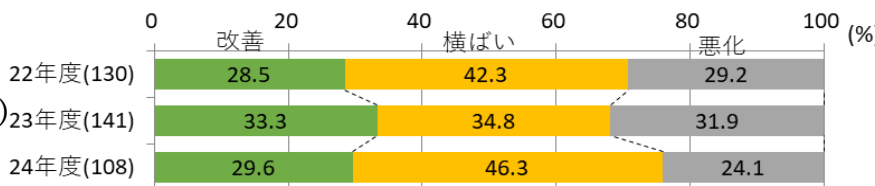


◇ 非製造業

黒字 / 赤字



前年度と比較した 収益の水準（改善 / 悪化）



図K 2024年度決算の営業利益（続き）

《2024年度決算の営業利益》図K

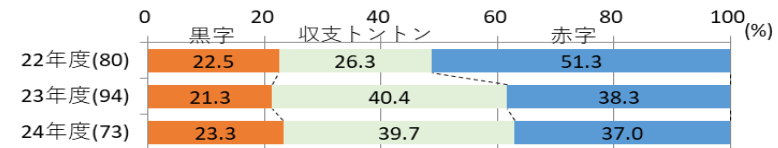
< 規模別 >

- 0-5人の24年度の「黒字」は2.0ポイント上昇して23.3%、「赤字」が1.3ポイント下降して37.0%となり、「赤字」が「黒字」を上回った。前年度と比較した収益の水準（改善/悪化）では、「改善」は10.4ポイント下降して20.5%、「悪化」は1.6ポイント上昇して35.6%となり、悪化へと進んだ。
- 6-20人では「黒字」は1.2ポイント上昇して42.6%、「赤字」は6.8ポイント下降して19.1%となった。前年度と比較した収益の水準（改善/悪化）では、「改善」は3.4ポイント上昇して36.2%、「悪化」は7.3ポイント下降して25.5%となった。「改善」が「悪化」を上回った。
- 21-100人では「黒字」は6.3ポイント下降して65.4%、「赤字」は3.7ポイント上昇して15.4%となった。前年度と比較した収益の水準（改善/悪化）では、「改善」は7.5ポイント下降して44.2%、「悪化」は2.9ポイント上昇して21.2%となり、「改善」が「悪化」を上回った。
- 101人以上では「黒字」は19.7ポイントと大幅に上昇して73.9%、「赤字」は0.7ポイント上昇して17.4%となった。前年度と比較した収益の水準（改善/悪化）では、「改善」は10.5ポイント上昇して52.2%、「悪化」は7.2ポイント下降して26.1%となり、「改善」が「悪化」を上回った。

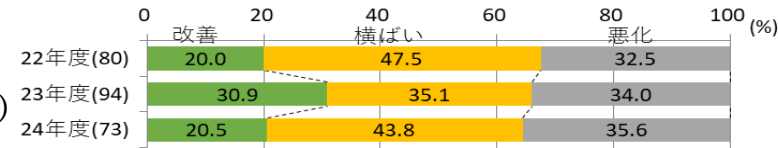
< 規模別 >

◇ 0 - 5 人

黒字 / 赤字

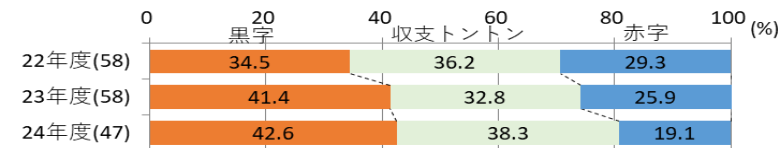


前年度と比較した 収益の水準（改善 / 悪化）

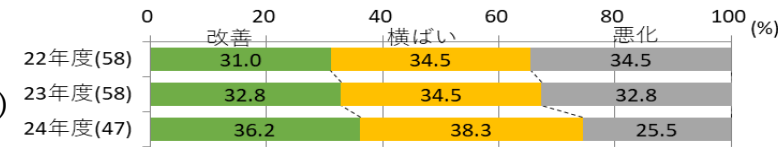


◇ 6 - 20 人

黒字 / 赤字

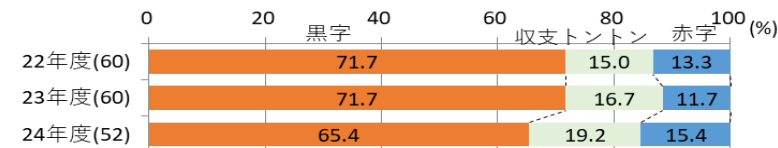


前年度と比較した 収益の水準（改善 / 悪化）

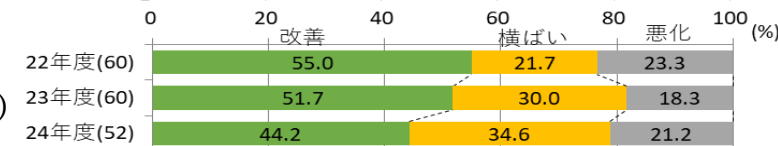


◇ 21 - 100 人

黒字 / 赤字

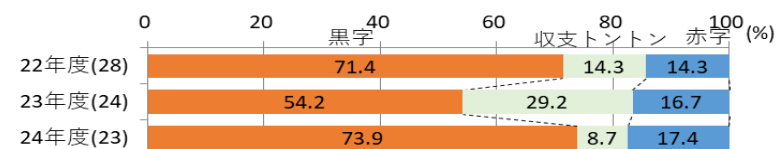


前年度と比較した 収益の水準（改善 / 悪化）



◇ 101 人以上

黒字 / 赤字



前年度と比較した 収益の水準（改善 / 悪化）

